

平成16年度 中間 事業報告書



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 (そのほか必要があるときはあらかじめ公告いたします。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03 (3323) 7111 (代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本支店
1単元の株式数	1,000株

世界の技術光源になる。

ICHIKOH

市光工業株式会社 〒141-8627 東京都品川区東五反田5丁目10番18号 TEL.03-3443-7281 FAX.03-3443-7233 URL : <http://www.ichikoh.com/>



平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

目次

株主の皆さまへ	1
イベント情報	2
財務ハイライト	3
中間連結決算概要	4
中間単独決算概要	6
Topics	8
株式の状況	12
会社概要	13

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社グループ平成16年度中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、雇用面での改善、輸出や生産の伸びが緩やかではあるものの増加傾向を続ける中で企業収益が増加し、設備投資の増加につながり、回復が続いてまいりました。海外におきましても、米国の減税による内需拡大により堅調に推移しており、中国をはじめとするアジアにおいても景気は拡大傾向にありました。

自動車業界におきましては、生産面では前年同期比3.1%増となり7年ぶりに5百万台を超える結果となりました。

このような環境のもと、当社グループは売上高の拡大、開発部門の強化、全社を挙げての合理化に取り組んでまいりました。

その結果、当中間期の連結売上高状況、その他の営業概況は次のとおりであります。

当社グループ主力の自動車関連部品の売上高は55,052百万円で、自動車関連以外の部門におきましては、1,534百万円となりました。

上記により、当中間期の連結売上高は56,587百万円となり、収益面につきましては、操業減、コストダウン等の合理化計画の未達および国内外子会社等の業績回復の遅れが影響し、連結経常損益は878百万円の損失、連結中間純損益は271百万円の損失を余儀なくされました。

今後の景気の見通しにつきましては、原油価格上昇により海外経済が減速はするものの拡大を続けるものと予想されますが、米国や中国をはじめとする東アジアの景気展開次第では輸出の減少をもたらす可能性があります。

自動車業界におきましては、国内生産台数の伸びは期待できないものの、海外生産は堅調に推移するものと思われれます。

当社グループはこのような情勢のもと、さらなる技術開発力の強化、販売の拡大、また生産性、効率性の向上に向けての合理化努力を徹底し、企業体質の改善をより一層強力に推進していく所存であります。

以上により平成17年3月期の連結決算見通しにつきましては、連結売上高118,000百万円、連結経常利益900百万円、連結当期純利益は400百万円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長 市川 侑男



当社はOEMメーカーの立場上、直接一般ユーザー様との関わりをあまり持てない状況にはありますが、製品開発をしていく上でもユーザー様からのニーズは必須と考えております。そこでより多くのユーザー様のお声を直接聞く場として、また当社の技術や開発力をPRする場として、年3回の各展示会に出展しております。

TOKYO AUTO SALON with NAPAC（毎年1月）

カスタマイジングマーケット向けに開催されるオートサロンでは、当社のサブブランド「VELIAS」や「colg」を中心に製品を出展しています。「colg」はフラットワイパーなどのワイパーブランドであり、「VELIAS」は主にHIDランプをメインとしたスタイリッシュな製品ラインナップが揃うブランドです。年々熱狂的な自動車ファンが増え続ける中、当社では「VELIAS」ブランドを筆頭に本格的なカスタマイジングマーケットに参入していきます。



人とクルマのテクノロジー展（毎年5月）

自動車技術会が主催する自動車技術展では、当社の進むべき技術の方向を業界関係者に明確にアピールしています。技術展ということで非常に真面目な展示会ではありますが、観客動員数は年々増えており業界内の評判も非常に高いものがあります。今後も開発技術に関係各方面にアピールするため、さらなる製品を次々開発していきます。

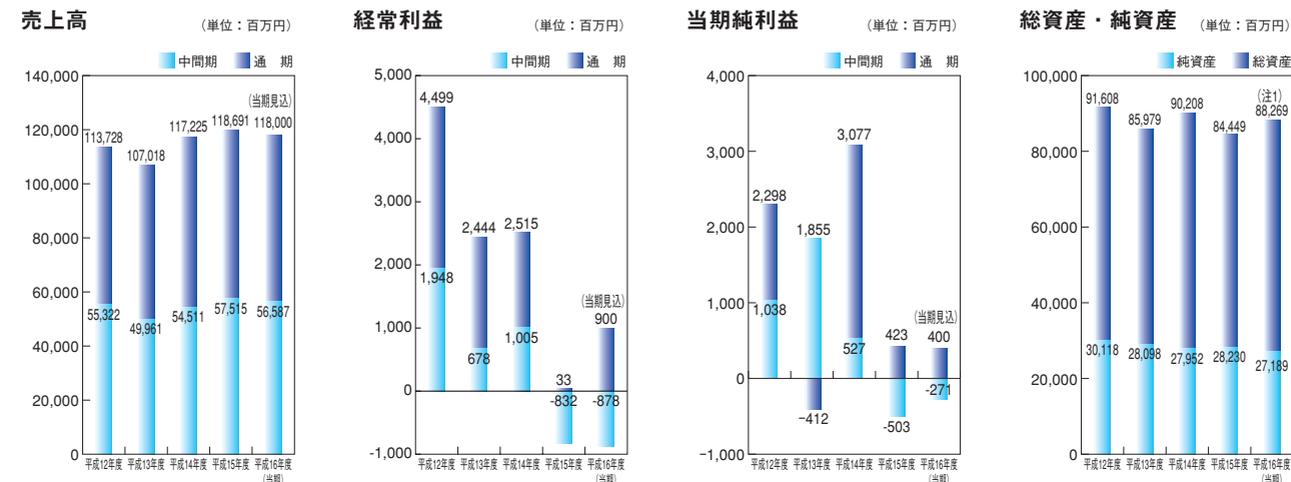


東京モーターショー（毎年10～11月）

乗用車・商用車・二輪車・電気自動車、それに部品・関連商品を含めた最先端の商品や技術が展示される、自動車業界では最大の展示会です。ご来場者も自動車関係者から家族連れと幅広く、ユーザー様のお声も様々あり大変勉強になる展示会です。またより良い人材を受け入れるべく、当社の製品やVALEOとの共同開発製品を展示したりと、多方面にアピールしています。

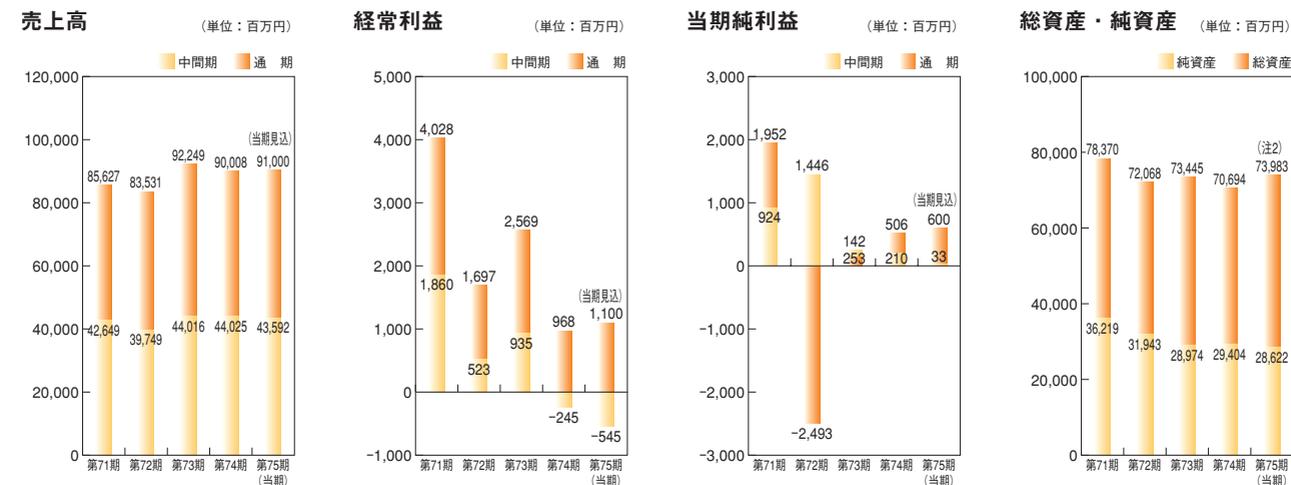


連結財務ハイライト



(注1) 平成16年度の数値は中間連結会計期間末の数値です。

単独財務ハイライト



(注2) 第75期の数値は中間期末の数値です。

中間連結決算概要

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間末 平成16年9月30日現在		科 目	当中間連結会計期間末 平成16年9月30日現在	
	前連結会計年度末 平成16年3月31日現在	前連結会計年度末 平成16年3月31日現在		前連結会計年度末 平成16年3月31日現在	前連結会計年度末 平成16年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	45,858	43,762	流動負債	38,632	37,560
現金及び預金	7,615	5,959	支払手形及び買掛金	20,518	20,079
受取手形及び売掛金	20,615	22,662	短期借入金	5,701	5,541
有価証券	638	422	1年以内償還予定の社債	80	80
たな卸資産	10,220	8,921	1年以内返済予定の長期借入金	4,089	3,174
繰延税金資産	1,092	1,244	未払金	503	917
その他	5,763	4,642	未払法人税等	418	1,828
貸倒引当金	△ 87	△ 90	未払費用	2,669	2,935
固定資産	42,411	40,686	製品保証引当金	492	510
有形固定資産	27,809	26,070	その他	4,159	2,492
建物及び構築物	8,029	7,406	固定負債	21,025	17,228
機械装置及び運搬具	7,969	6,532	社債	1,268	1,265
工具器具及び備品	2,937	2,677	長期借入金	8,808	5,394
土地	6,041	6,036	退職給付引当金	8,933	8,273
建設仮勘定	2,831	3,416	役員退任慰労引当金	198	221
無形固定資産	181	207	連結調整勘定	14	18
投資その他の資産	14,419	14,408	その他	1,800	2,055
投資有価証券	8,670	9,353	負債合計	59,657	54,789
長期貸付金	29	31	少数株主持分	1,422	1,429
繰延税金資産	3,814	3,219	資本の部		
その他	2,119	2,018	資本金	8,929	8,929
貸倒引当金	△ 214	△ 213	資本剰余金	7,840	7,840
資産合計	88,269	84,449	利益剰余金	12,821	13,419
			その他有価証券評価差額金	10	504
			為替換算調整勘定	△ 2,401	△ 2,453
			自己株式	△ 11	△ 9
			資本合計	27,189	28,230
			負債、少数株主持分及び資本合計	88,269	84,449

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで		前中間連結会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	
	売上高	56,587	57,515	売上原価
売上原価	49,855	49,878	販売費及び一般管理費	8,371
販売費及び一般管理費	8,015	8,371	営業利益	△ 1,283
営業利益	△ 1,283	△ 734	営業外収益	732
営業外収益	732	636	営業外費用	327
営業外費用	327	734	経常利益	△ 878
経常利益	△ 878	△ 832	特別利益	757
特別利益	757	706	特別損失	119
特別損失	119	247	税金等調整前中間純利益（△純損失）	△ 240
税金等調整前中間純利益（△純損失）	△ 240	△ 373	法人税、住民税及び事業税	109
法人税、住民税及び事業税	109	392	法人税等調整額	△ 78
法人税等調整額	△ 78	△ 295	少数株主利益	0
少数株主利益	0	33	中間純利益（△純損失）	△ 271
中間純利益（△純損失）	△ 271	△ 503		

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで		前中間連結会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 76	△ 4,276	投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,449	△ 2,087	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,119	△ 1,323	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△ 36	現金及び現金同等物の増減額	1,620
現金及び現金同等物の増減額	1,620	△ 7,724	現金及び現金同等物の期首残高	5,312
現金及び現金同等物の期首残高	5,312	15,281	現金及び現金同等物の中間期末残高	6,933
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,933	7,557		

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単独決算概要

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第75期中間期末	第74期末	科 目	第75期中間期末	第74期末
	平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在		平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	36,768	34,840	流動負債	29,198	28,951
現金及び預金	3,793	3,401	支払手形	4,225	4,480
受取手形	826	584	買掛金	13,905	14,329
売掛金	18,018	18,721	短期借入金	1,600	1,600
有価証券	563	363	1年以内返済予定の長期借入金	2,588	1,747
製品	2,058	1,925	未払金	459	525
原材料・貯蔵品	1,279	1,168	未払法人税等	316	1,702
仕掛品	636	588	未払費用	1,923	2,139
前払金	1,274	1,466	製品保証引当金	492	510
未収入金	4,069	3,049	その他	3,688	1,916
関係会社短期貸付金	3,374	2,418	固定負債	16,162	12,338
繰延税金資産	895	1,177	長期借入金	5,833	2,627
その他	207	203	退職給付引当金	8,357	7,716
貸倒引当金	△ 229	△ 228	役員退任慰労引当金	193	217
固定資産	37,215	35,853	長期預り金	1,777	1,777
有形固定資産	20,816	19,455	負債合計	45,360	41,290
建物	5,751	5,264	資 本 の 部		
構築物	295	313	資本金	8,929	8,929
機械及び装置	6,331	4,974	資本剰余金	7,393	7,393
車両運搬具	34	42	資本準備金	7,393	7,393
工具器具及び備品	1,719	1,598	利益剰余金	12,346	12,634
土地	4,287	4,287	利益準備金	1,543	1,543
建設仮勘定	2,396	2,973	配当引当積立金	600	600
無形固定資産	126	157	固定資産圧縮積立金	363	364
ソフトウェア	27	58	別途積立金	8,909	8,909
その他	99	99	中間(当期)未処分利益	930	1,216
投資その他の資産	16,271	16,239	その他有価証券評価差額金	△ 35	456
投資有価証券	8,017	8,680	自己株式	△ 11	△ 9
関係会社株式	3,777	3,777	資本合計	28,622	29,404
関係会社出資金	281	281	負債及び資本合計	73,983	70,694
長期貸付金	65	77			
繰延税金資産	3,240	2,663			
その他	897	767			
貸倒引当金	△ 7	△ 7			
資産合計	73,983	70,694			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第75期中間期	第74期中間期
	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から平成15年9月30日まで
売上高	43,592	44,025
売上原価	40,060	39,582
販売費及び一般管理費	4,617	4,860
営業利益	△ 1,085	△ 417
営業外収益	695	613
受取利息及び配当金	131	89
固定資産賃貸料	225	238
その他の営業外収益	338	285
営業外費用	154	441
支払利息	42	52
固定資産貸与費用	87	110
その他の営業外費用	25	279
経常利益	△ 545	△ 245
特別利益	754	760
固定資産処分益	0	0
投資有価証券売却益	751	680
その他の特別利益	2	80
特別損失	94	123
固定資産処分損	94	107
その他の特別損失	0	16
税引前中間純利益	114	391
法人税、住民税及び事業税	38	310
法人税等調整額	42	△ 128
中間純利益	33	210
前期繰越利益	896	997
中間未処分利益	930	1,208

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



多彩なモデルに、多彩なフォルムの安全性能を提供しています。

それぞれのクルマのデザインに合わせ、常にベストの安全を提供し続けるICHIKOH。高度な配光設計シミュレーションや、製品の見栄えを忠実に再現する3Dシミュレーション等、その先進の開発技術と確かな品質は、国内・国外の自動車メーカーからの高い評価と信頼に表れています。ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ドアミラー…。あなたのクルマにもきっとICHIKOHの製品が使われています。

話題の新光源。HIDやLED。これらの普及に欠かせない様々な補助システムも積極的に開発しています。

最近よく見かけるようになったHID放電灯ヘッドランプ。従来のヘッドランプとは異なる青白い光が特徴です。しかしこのHID、その強力な照度ゆえ、わずかでも光軸が狂うと対向車に迷惑をかけてしまいます。実は、欧州では既にHIDヘッドランプに自動光軸レベラーと、ヘッドランプウォッシャーの装備が義務付けられているのです。私達ICHIKOHも、VALEO社との共同開発により、近い将来国内でも義務付けが予想されるこれら2つのシステムの開発を進めています。また、私達は話題のLEDランプを利用した全く新しいAFSシステムの開発にも積極的に取り組んでいます。ICHIKOH独自のLEDベンディングランプを使ったAFSシステムは、従来のような可動部分が無いため、低コストでありながら高い信頼性を誇ります。

Headlamp Cleaner System

欧州ではHIDヘッドランプにヘッドランプクリーナーの装着が義務付けられており、日本でも法規導入が検討されています。欧州で実績のあるVALEO社と協力し、性能や信頼性、デザイン、標準化など、様々な課題に取り組んでいます。写真はその一例として、量産車BMWZ8のヘッドランプに搭載されているタイプと、ヘッドランプフィニッシャーと一体化した製品です。

いずれも、夜間ヘッドランプ点灯の状態、必要に応じて作動させることができます。

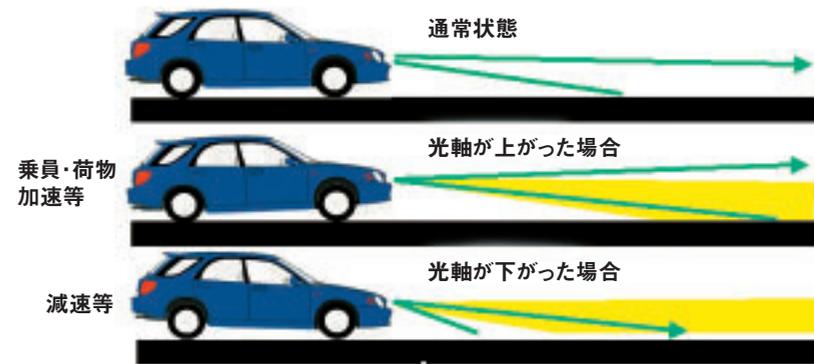
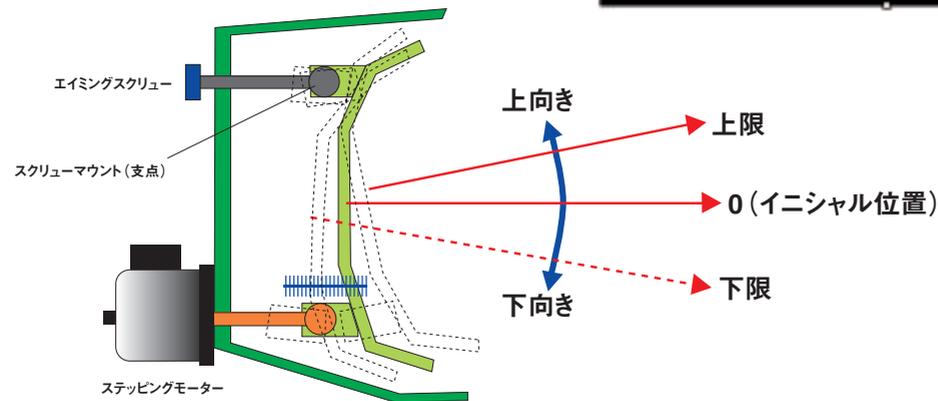


Headlamp Auto-leveler

オートレベラーは車両の積載条件等による姿勢変化によって光軸が上を向いてしまう場合に、対向車などに眩感を与えないように自動的に光軸調整を行うシステムです。ヘッドランプクリーナー同様、HIDヘッドランプでは特にその必要性が高く、眩感を与えないようにシステムの装着が義務付けられる見込みです。

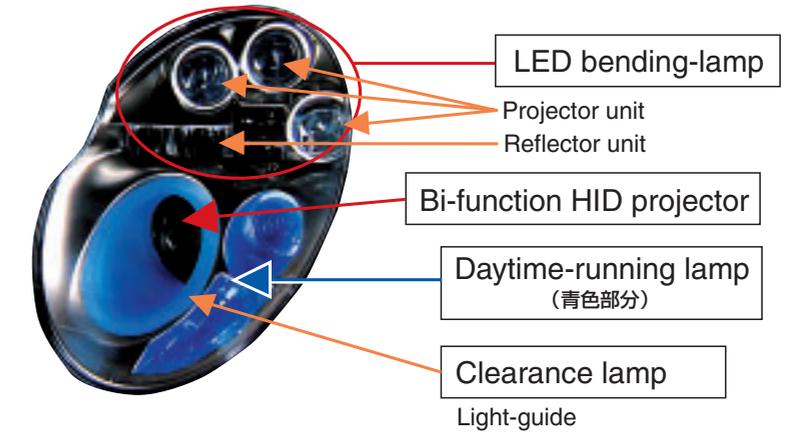
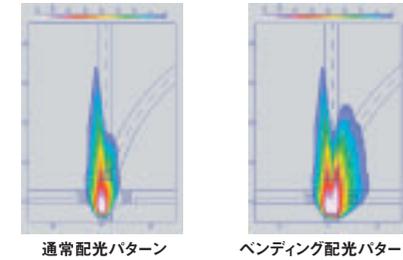
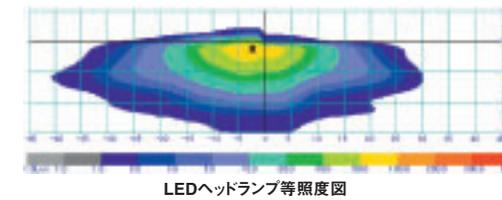


原理図



AFS (Adaptive Front-lighting System)

バイファンクションHIDプロジェクター、LEDベンディングランプ、LEDデイタイムランニングランプ、ライトガイドクリアランスランプで構成されるAFSヘッドランプ。機能的レイアウトによってコンパクトでありながらマルチファンクション化を実現しています。



1. バイファンクションは走行ビームとすれ違いビームを一つのユニットで可能にするタイプで、軽量化、省スペース、省電力など重要な役割を果たします。切換機構にも独自の技術を採用し、ユニットの小型化や静粛性を実現しています。
2. LEDベンディングランプは、プロジェクターユニット、リフレクターユニットを組合せ、ステアリングに連動して調光点灯制御を行っています。
3. デイタイムランニングランプは、昼間の走行において対向車や歩行者からの被視認性を高めて安全性の向上を図ります。
4. クリアランスランプはデイタイムランニングランプと同時点灯し、ライトガイドを使ってモニュメントのような見栄えを表現しています。

株式の状況 (平成16年9月30日現在)

株式の総数及び資本金

資本金	8,929,538,428円
発行済株式の総数	96,036,851株
授權株数	200,000,000株
株式の異動	
名義書換件数	86件
名義書換株式数	2,487,951株
期末株主数	9,926名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	議決権個数	議決権比率
ヴァレオ・バイエン	21,762 千株	21,762 個	22.77 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	5,869	6.14
株式会社みずほコーポレート銀行	4,775	4,775	4.99
株式会社あおぞら銀行	2,909	2,909	3.04
ダイハツ工業株式会社	2,712	2,712	2.84
角田 博	2,683	2,683	2.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,084	2,084	2.18
株式会社UFJ銀行	2,068	2,068	2.16
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1,913	2.00
日本生命保険相互会社	1,860	1,860	1.95

(注1) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は株式会社みずほコーポレート銀行及び株式会社みずほ銀行の持株会社である株式会社みずほフィナンシャルグループの普通株式1,436.58 (議決権比率0.01%) を保有しております。

会社概要 (平成16年9月30日現在)

商号 市光工業株式会社

設立 昭和14年12月20日

事業所

本社	〒141-8627 東京都品川区東五反田5-10-18 TEL 03 (3443) 7281
テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1488
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
大泉製造所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 2271
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
中津川製造所	〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-37 TEL 0573 (68) 6615
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社3-2112-2 TEL 052 (709) 2011
AM札幌センター	〒005-0036 北海道札幌市南区南36条西11-2-13 TEL 011 (581) 2166
大泉営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 0760
大阪営業所	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町15-39 TEL 06 (6384) 6551
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町3-20 TEL 082 (261) 2208
九州営業所	〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-3-1 TEL 093 (522) 5711

取締役及び監査役

代表取締役社長	市川 侑男
専務取締役	寺田 勝彦
専務取締役	大雲 直哉
専務取締役	青木 俊朗
専務取締役	磯部 孝征
常務取締役	梶谷 達雄
常務取締役	東出 洋治
取締役	津崎 栄二
取締役	中野 孝雄
取締役	山本 政美
取締役	二川 幸司
取締役	須賀 進
取締役	大坪 千二
取締役	安藤 信雄
取締役	小宮山 文夫
取締役	ティエリー・ドゥリュウ
常勤監査役	山本 文雄
常勤監査役	住野 稠生
監査役	堤 淳一
監査役	蛭子 優

従業員数

連結	4,110名
単独	2,331名